

〇ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1** 学年・教科 全学年 国語
- 2** 単元名 漢字の書き順
- 3** 実践者（所属） 倉田 亨（はるひ野小学校）
- 4** 活動を始める前に

(1) 準備するもの

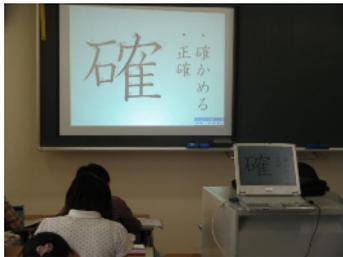
プロジェクター
コンピュータ
ホワイトボード

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

書き順を視覚的に見ることで、より正しく漢字の書き取りをすることができる。

とめ、はねなどをより正確に理解し、書くことができる。

5 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
		新出漢字をHPからダウンロードしておく。 パワーポイントなどでプレゼンしておく。
10分程度	新出漢字の正しい書き順を覚える。 ・マジックを使い、子どもとともに書き順をなぞる。 ・とめ、はねなど間違いやすい所を見つけるようにする。 新出漢字をノートに書く。	新出漢字を空書きする。 ・プロジェクター、ホワイトボード コンピュータ 

6 取り組み後の子ども達の変容や成果

子どもの興味・関心が高まり、楽しく漢字学習に取り組んでいる。書き順を正確に覚えようと意識をだし、一画一画を正確に集中して書いていた。継続していくことでさらに効果が上がると考えている。

7 応用できます！

プリントアウトして掲示しておく、子どもの目にいつもふれることもできる。

